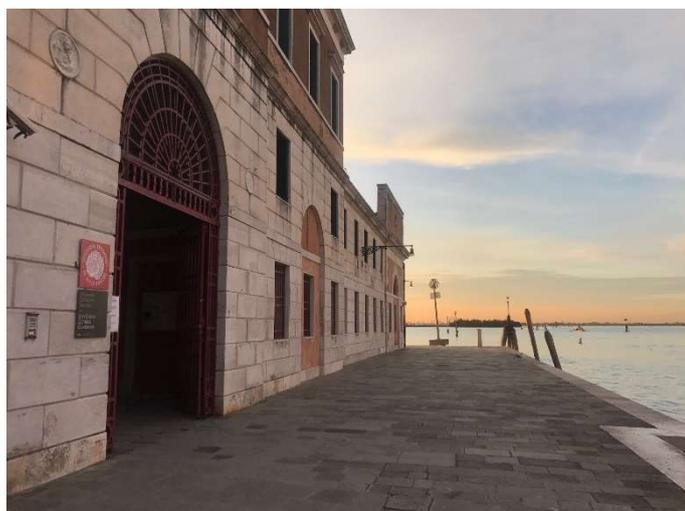


# 留 学 報 告 書

記入日: 年 月 日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	イタリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ヴェネツィア カ・フォスカリ大学 現地言語: Università Ca' Foscari Venezia
留学期間	2017年9月～2018年7月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年7月7日
明治大学卒業予定年	2020年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9月上旬～1月下旬 2 学期:2月上旬～7月下旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約 19,000 人
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (€)	円	備考
授業料	€0	0円	
宿舍費	€3,100	40万円	月€310×10か月
食費	€250	3万3,000円	
図書費	€460	6万円	
学用品費		円	
教養娯楽費	€500	6万5,000円	
被服費	€800	10万4,000円	
医療費	€0	0円	
保険費	€1,000	13万円	形態:大学指定保険 プラン①
渡航旅費	€1,500	20万円	
雑費	€170	2万3,000円	イタリア語授業申請料等
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	€7,780	103万円	



## 渡航関連

**渡航経路:** 成田空港→パリ シャルルドゴール空港→マルコポーロ空港

渡航費用

チケットの種類 Economy

往路 \_\_\_\_\_

復路 \_\_\_\_\_

合計 \_\_\_\_\_ 154,130 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

CAN ツアー

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2)部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 2)

3)住居を探した方法:

大学(Housing office)の斡旋

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

大学の寮はキッチンが無いので、注意してください。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

Buddy、もしくは大学の Welcome office に相談しました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

ナポリ旅行中に、お財布を盗まれました。直ちにクレジットカード停止の手続きを行い、警察署で被害届を出してもらいました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

私の住んでいた寮には Wifi が無かったので、パソコンは主に図書館で利用していました。大学の校舎内であれば大学の Wifi が使えますし、島内に Venice connected という Wifi があるのでそれを使うことができます。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

留学前に Cash passport を作成しました。日本で親に資金を振り込んでもらい、現地の ATM から資金調達しました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

特になし

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
48単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Design and Innovation Management-1	デザイン・イノベーションマネジメント-1
科目設置学部・研究科	
履修期間	1st term
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に360分が5回
担当教授	CALCAGNO Monica
授業内容	デザイン思考・経営に関する講義。
試験・課題など	筆記試験、口頭試験
感想を自由記入	大学院生向けの授業なので難しかったです。先生の英語もイタリア語訛りで少し聞きづらいので、授業中録音して聞き直して理解するように努力しました。ゲストスピーカーもしばしば訪れるので、いろいろな方面で働く人の考えや世界を知る機会があつてとても興味深いです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Design and Innovation Management-2	デザイン・イノベーションマネジメント-2
科目設置学部・研究科	
履修期間	2nd term
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、グループワーク(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に360分が5回
担当教授	CALCAGNO Monica
授業内容	イノベーション・マネジメントのプロセス・組織の構造化に関する講義と、少人数グループでのフィールドワーク実践とプレゼンテーション。
試験・課題など	プレゼンテーション、筆記試験、口頭試験
感想を自由記入	二学期は、講義の他、ワークショップもありました。少人数でグループを組み、フィールドワークや自主活動の多い授業なので、負担が非常に大きかったです。大学院生向けの授業なので内容はもちろん難しく、2つのプロジェクトワークは、授業外でもグループで集まることを要したので、他の授業に影響するほど大変でした。グループのメンバーが私以外イタリア人で、時にイタリア語のみで話し出したりすることもあり、意思疎通が困難で、悔しい思いをすることもありました。苦労は多かったです。活動には積極的に参加し、貢献できることを率先して行いました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English Language	英語学(異文化理解)
科目設置学部・研究科	
履修期間	1st semester
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が15回
担当教授	PHILLIPS Alun David
授業内容	コミュニケーションや文化の違いについての講義。資料やビデオを見て、ディスカッション、ペアワーク。
試験・課題など	口頭試験、筆記試験
感想を自由記入	アウトプットし意見共有する機会の多い授業だったので、違う国籍の違った考えに触れることができ、興味深かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
History of Italian Design	イタリアデザイン史
科目設置学部・研究科	
履修期間	1st semester
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が15回
担当教授	Martino Pietropoli
授業内容	イタリアのデザイン史に関する講義。
試験・課題など	プレゼンテーション
感想を自由記入	先生が日本や他の国々のデザインや歴史についても触れながら授業を進めてくれるので、とても分かりやすく、楽しい授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
History of Italian Culture and Literature	イタリア文化・文学史
科目設置学部・研究科	
履修期間	1st semester
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、グループワーク(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が15回
担当教授	Enrico Palandri
授業内容	イタリア文化・文学に関する講義。毎授業で学生によるプレゼンテーション。
試験・課題など	プレゼンテーション、口頭試験
感想を自由記入	先生の英語がイタリア語訛りで少し聞きづらいので、理解するのが困難でした。また、世界史や文学について知っている前提で授業が進められていくので大変でしたが、YouTubeで講義内容に関する動画を見たりし理解を深めるよう心掛けました。プレゼンテーションもあり、教授はその発表内容に対して深く掘り下げて質問をしてくれるので、プレゼン準備が大変でしたが、良い学びに繋がりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Communicating Media and Politics in a Globalized World	国際社会におけるメディア媒体と政治学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2nd semester
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、グループワーク(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が10回
担当教授	Marcel Burger
授業内容	国際化社会とメディアの関連の講義。少人数クラスでのディスカッション。
試験・課題など	プレゼンテーション
感想を自由記入	毎授業課題が出題され、グループワークを伴うものだったので大変でしたが、授業内でのディスカッション、プレゼンテーションを通して発言する機会が多くあったので良い授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intercultural Communication	異文化コミュニケーション
科目設置学部・研究科	
履修期間	2nd semester
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が15回
担当教授	Pavan Elisabetta
授業内容	異文化に関する講義。自国・他国の文化のプレゼンテーション。
試験・課題など	プレゼンテーション、筆記試験
感想を自由記入	グループワークを要し、他の生徒と交流して意見を交換する機会が非常に多い授業でした。毎週の課題が多いですが、異文化に関する課題なので取り組むのは苦ではなかったです。様々な国の考えに触れられるので面白い授業でした。5月に15,000字の最終レポートとopen questionの筆記試験、最終プレゼンがあり、とても大変でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Contemporary History of Venice	ヴェネツィア現代史
科目設置学部・研究科	
履修期間	2nd semester
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が15回
担当教授	Gilda Zazzara
授業内容	ヴェネツィアの歴史に関する講義。
試験・課題など	筆記試験
感想を自由記入	留学先のヴェネツィアの歴史について学ぶことが授業外でなかなかなかったので、興味深い授業でした。



留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	留学先選択
4月～7月	TOEFL 試験勉強、 志願書作成、提出
8月～9月	
10月～12月	面接
2017年 1月～3月	選考
4月～7月	出願、ビザ申請
8月～9月	ビザ取得、授業
10月～12月	授業、試験、冬期休暇
2018年 1月～3月	冬期休暇、イタリア語集中講座、授業、試験
4月～7月	授業、試験、旅行
8月～9月	帰国
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	幼い頃から漠然と留学に対して憧れがあったのもありますが、留学を決めた理由としては、将来の自分のキャリアに必要であると思ったからです。これまでの海外経験を通して、将来的には、海外との繋がりを持つ仕事に就きたいと思っていました。そのためにはまず語学力を伸ばすこと、異文化理解をする他、新しい環境の中で、一人でどれだけ頑張れるのかチャレンジする事で自信に繋げたいと考えました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	コミュニケーションのツールとなる英語の語彙を増やしていくことは大切だと思います。また、非英語圏の国に留学する場合は、その国の言語も勉強しておくことをお勧めします。英語の留学プログラムであったとしても、現地には英語が話せない人が多く、スーパーでも大事な申請手続きでもほとんどイタリア語が必要とされ、日常生活をする上でその国の言語習得は必要不可欠でした。大学の勉強とイタリア語の勉強を両立することは決して簡単なことではなく、留学前から少しでも勉強していればと思います。また、現地にはヨーロッパ中からの留学生が集まってくるので、色々な国の文化や簡単な挨拶等を学んでおくと、会話も盛り上がります。
この留学先を選んだ理由	大学間協定校だったというのがまず根底にあります。かつてから、様々な国の文化や歴史の多く詰まったヨーロッパに魅力を感じており、EU 諸国内において国境を感じさせない他国を近くに感じることでできる環境に惹かれ、留学先にヨーロッパを選びました。その中でも一番自分の興味のある授業が多く開講されていたヴェネチア大学を希望しました。
大学・学生の雰囲気	日本語を学ぶ学生が多く、現地のイタリア人の友達が作りやすい環境でした。北イタリアの学生は比較的日本の学生と似ていて、シャイな人が多かったように思います。ですが、パーティー好きで話すとフランクで楽しい人ばかりでした。また、一方でやる時はやる、というような真面目な学生が多く、良い刺激を受けました。
寮の雰囲気	私の寮は本島の中心部に位置していて、目の前にスーパーもあったので生活するには便利でした。寮に帰れば大学の学生がいるので、友達も作りやすく、常に会話の生まれる環境だったので良かったです。大学の寮はキッチンが無かったので、電子レンジを使ってできる料理を試行錯誤で作っていました。部屋はイタリア人の子と二人部屋で、完全にプライベート空間が無かったので時々ストレスに感じることもありましたが、孤独に感じることはなく、今まで実家暮らしだった私にとっては良い環境だったのかなと思います。みんなが家族のような雰囲気の寮で生活しやすかったです。
交友関係	授業前後に近くの人に話しかけたり、留学生用のイベントには一人でも積極的に参加したりして、交友関係を広めました。ボランティアで日本語クラスの TA を始めてからは、日本語を勉強するイタリア人の友達がたくさんできました。一緒にご飯に行ったり、ハウスパーティーも開催したり、頻りに集まることで、一緒に観光や旅行をしたり相談し合える仲になりました。
困ったこと、大変だったこと	イタリア語を使わなければ生活が辛いという環境は、簡単なことでさえも人一倍に時間がかかったり、大事な申請手続きに関しては一人では成し遂げられなかったりと、非常にストレスになることばかりで、とても大変でした。その悔しさがモチベーションにも繋がり、大学の授業とプラスαでイタリア語も一生懸命に取り組み、最終的には日常生活をするにあたって困らない程度の語学力を習得することができました。
学習内容・勉強について	興味があった経営学を中心に、学生同士でのディスカッション、プレゼンテーション、フィールドワーク等、アウトプットも要するような授業を取りました。専門用語や専門知識不足で授業についていくのが大変で、悔しい思いもたくさんしましたが、友達と助け合ったり、図書館に夜中まで残って勉強したりして乗り越えました。イタリア語の授業は、イタリア語開講で授業時間も長く、課題も試験も多かったのですが、イタリア語を初めて習う私にとっては、大学の授業との両立にとっても苦労しました。初めは大変なことばかりでしたが、日常生活でイタリア人の友達に積極的にイタリア語で話しかけたり、イタリア語で買い物したりと、場数を踏むことを心掛けました。

課題・試験について	授業によって課題量はバラバラでしたが、授業の予習復習を含め、慣れるまでは毎日勉強尽くしてました。試験の形式も様々で、それらに応じた試験対策が必要でした。どの試験にも共通して必要とされたのは、自分の考えを学習内容と関連させてアウトプットすることです。試験期間になると毎日閉館時間まで図書館に籠り、また寮に帰ってからも共有スペースで明け方まで勉強することもありました。
大学外の活動について	時間の許す限り、「人と交流すること」、「旅行すること」を心掛けて過ごしました。初めは授業に追いつくために課題や予習復習に追われていましたが、時間の使い方を効率的に行うことで、余暇をそれらに充てるできるようになりました。交流を続けることで次第にコミュニティーができ、自分の居場所というものがあることに気づきました。また、イタリアがヨーロッパの中心に位置していたこともあり、旅行のしやすい環境にありました。積極的に旅行を計画し、友達を誘い、留学中計 18 か国 71 都市を周り、見聞を広めることができました。
留学を志す人へ	留学は、自分の頑張り次第でどんなものにもなります。理想の留学と現実とにギャップが生じることもあるかと思いますが、自分の置かれた環境下で留学生生活を最大限活用するためにフレキシブルに考えることも大事のように思います。また、留学は学問を学ぶためだけのものではありません。異文化理解のために見聞を広めることにも是非目を向けて、充実した留学生活を送ってください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		授業		授業		旅行	旅行
	授業	授業	日本語 TA	授業		or	or
午後	自習	自習	日本語 TA	授業	自習	イベント	イベント
	授業	授業	授業	授業	授業	or	or
夕刻	授業	授業	授業	自習		課題	課題
夜	自習	自習	交流会	パーティー	交流会		

